

天の川 ってなに?

天の川は銀河系と呼ばれるたくさんの星の集まりです。銀河系は円盤のような形をしています。街明かりがなく、空気も澄んでいる海辺や高原に出かけることがあれば空を見上げてごらん。たくさんの星や天の川が見えます。6~8月中旬の午後8時頃なら南の地平線から北に向かってのびる白い帯のように見えます。南に向いて空を見上げると、こと座のベガ、その左上には、はくちょう座のデネブ、左下に、わし座のアルタイルが明るく輝いています。この3つの目立つ星を結ぶと大きな三角形が描けます。これが「夏の大三角形」です。おり姫とひこ星の間に天の川があります。夏の大三角形をひっくり返すと北極星に届きます。夏の夜空を楽しんでみてはいかがですか?

子ども歳時記

日本には季節にちなんで行われる行事や風習が数多くあります。それぞれに理由や目的があり、人々の願いが込められています。

お祭り

近所の公園や商店街で金魚すくいをしたり、綿あめを買って食べたりしながら遊べる小さなお祭りから、やぐら

を囲んで輪踊りをする丹波篠山の「デカンショ節」尼崎の立花音頭等の盆踊り、大勢の人が集まる花火大会まで、夏にはいろいろなお祭りがあります。

ゆかたを着て下駄を鳴らす姿はとても涼やかです。お祭りなどに出かける時は、ぜひ、ゆかたを着てみましょう。いろいろな模様があり楽しいですよ。



- お祭りや花火大会に出かける時は…
- ・事前に交通手段や開催時間、当日の天気等を調べておきましょう。
 - ・人ごみの中では、子どもとはぐれたり事故の無いように注意しましょう。
 - ・水分補給に気をつけましょう。

住環境コーディネーター
引地 春美

子育て親育ちエッセンス

サークル『やんちゃんこ』
代表 濱田 英世

子どもとの会話

皆さん、お子さんといろいろな話題について会話を楽しまれていますか?

よくよく思い出してみると、たいした話をしていないのでは…と反省することがあるものです。忙しい時に限って「聞いて!聞いて!」と言ってくると、つい邪険に「はいはい」と、うわの空で返事をしてしまい、「これ何?」と尋ねてきても「知りません」の一言でシャッターアウトしてしまう時ってありませんか?

子どもは好奇心のかたまりなのです。初めて見るものにドキドキして、初めてやってみることに不安でいっぱい。

誰かに聞いてほしい気持ちは大人も一緒

実は私たち大人もまるっきり同じで、聞いてほしいことがあると、とにかくおしゃべりをしますし、新しい情報は何でも知りたいものです。けれども反対の立場になって聞く側になると、大人の都合でいい加減な対応をしてしまう…良くないことですよ。

子どもにとっては、聞いてほしい今の気持ちがそこにあり、不思議な出来事の瞬間が今日の前にあったりするので、やはり大切なその瞬間を、しっかりと受け止めてお話を返事をしてあげてほしいと思います。

言葉をたくさん知っているということは、学習力にも影響を与えます。

“ふわふわ”や“べとべと”“つるつる”などという言葉は、実際に触ったり、やってみたりという経験がないとわからない言葉です。

例えば“ポチャン”と“ザブーン”などとお風呂で水遊びをしていると、その言葉遊びの中から自然と『水の量』を感じることが

ることができます。

“ずっ”と持ち上げると軽く、“う〜ん”と持ち上げると重い。“ずたずた”歩くと早く、“とぼとぼ”歩くと何やら元気がない。『物の重さ』も感じられるし、『様子や気持ち』も、このような言葉で表されるのです。そして、このことが自然と学習の基礎となつて、言語力にもつながってくるのです。

この言葉遊びは、赤ちゃんへの声かけからもう始まっています。笑顔で接し、絶えず声かけをして育てると脳の発達にも影響があるということも実証されました。

何も難しいことはありません。毎日の日々の中で、いつもお話をしておいてください。擬態語・擬音語で、たくさん言葉遊びをしてあげてください。

自分を受け入れてもらって初めて相手の気持ちも考えることができる

そうして思ったこと、感じたことを何でも言えることで豊かな表現力も身につく、また、自分の気持ちを受け止めてもらえることができれば、相手の気持ちも理解しようとするように育つのです。

今は、携帯とにらめっこばかりしている人が増え、ひどいことに携帯のゲームに子守りをさせている親がいるという話を聞きました。そうして育った子どもは幼稚園に行った時に絵本が読めなかったそうです。なぜか解りますか?絵本の挿絵を指で伸ばしても大きくならないから、つまらないと言ったそうです…

どうか、子どもとたくさんの会話を!そして絵本の大好きな子どもに育ててあげてください!!



BOOK! BOOK! BOOK!

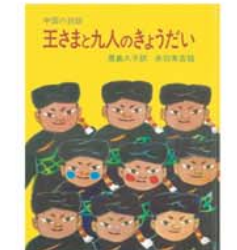
季節やテーマに沿ったおすすめ絵本を紹介いたします。すべて図書館にある本なので、ぜひ読んでみてください!今回は、特集と関連づけて「誰かが誰かを助ける」絵本です



『おおきなかぶ』A・トルストイ
大きなかぶをみんなで力を合わせて抜くという単純な物語の中に、大らかさ、力強さ、ユーモアなどが満ちあふれ、ロシア民話の楽しさを味わわせてくれます。福音館書店・1966年



『かえりみち』あまん きみこ
野原のまん中でまいごになった女の子が、小さな動物たちと心をかよわせるふしぎで、楽しいメルヘン。童心社・1979年



『王さまと九人のきょうだい』
訳: 君島 久子
王さまが出ず難題を次々と解決する兄弟。中国の少数民族のお話の傑作絵本です。岩波書店・1969年



『おおきな木』
シェル・シルヴァスタイン
いつでもそこにある木。成長し変わっていく少年。それでも木は少年に惜しめない愛を与え続けた。何度も読み返したい、ロングセラー絵本。あすなる書房・2010年



『花さき山』斎藤 隆介
菜をとりについて、山ばに会ったあや。やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという花さき山の感動のものがたり。心にのこる名作絵本です。岩崎書店・1969年



『しんせつなともだち』方 軼羣
食べる物のない雪のある日。1つのかぶが、うさぎかららばへ、らばからやぎへと、友達への思いやりの心をのせて届けられていきます。ぐるぐる話の傑作です。福音館書店・1987年

あまがさきキッズサポーターズ メンバー紹介

私たち「あまがさきキッズサポーターズ」は、尼崎市内で子育てに奮闘しているお父さんやお母さんを応援する、自主的な活動グループです。その活動の一つが「地域の子育て支援に関する活動・イベントの情報収集」であり、その発信をするのがこの冊子『ビギナス』です。

「こんな情報がほしい」など、『ビギナス』に対するご意見・ご要望を、ぜひ下記までお寄せください!!



・濱田 英世・青木 久美子・田井 尚美・菊田 恭子・松崎 智子
・胡中 智礼・東 真貴子・引地 春美・阪本 直・橋本 亜希子

FAX
06-6482-3781

E-mail
ama-kodomo-support@city.amagasaki.hyogo.jp

住所 〒660-8501
尼崎市東七松町1-23-1

尼崎市役所 こども家庭支援課 宛